

はじめに

栃木県保健環境センターは、保健衛生と環境保全分野の技術的な中核機関として、行政依頼検査に加え国や地方衛生・環境研究所などと連携・協力し、試験研究、技術的支援及び情報提供を行っております。

本年は新型コロナウイルス感染症の世界的な流行に伴い、史上初めての緊急事態宣言や、3密を避けた「新しい生活様式」の実施など、私たちの生活が一変した年でありました。

当所においては、流行当初から検査の重責を担っており、感染拡大を防ぎ県民の健康を守るため、PCR検査や発生状況の発信などに尽力しております。今後も新型コロナウイルスをはじめ、インフルエンザ等の感染症の発生動向を注視し、引き続き検査体制等の維持向上を図り、関係機関と連携し的確に対応して参ります。

また、環境分野におきましては、本県の気候変動適応を推進するため4月1日に県地球温暖化対策課と共同で「栃木県気候変動適応センター」を設置いたしました。これまでに、ホームページを活用した情報発信を進めるとともに、県民ワークショップなどの開催により、県民が肌で感じる気候変動影響に関する情報収集などに取り組んでおります。

今後、本県の強みにつながる科学的知見や適応策の収集並びに本県の特性を踏まえた整理・分析を行い、県民・事業者目線に立ったわかりやすい情報発信を心がけて参ります。

最後に、引き続き、県民の健康と安全な生活環境の確保を目指して参りますので、関係各位の一層の御指導、御支援をよろしくお願いいたします。

この度、令和元（2019）年度に実施した業務を取りまとめました。御高覧いただければ幸いです。

令和2（2020）年12月

栃木県保健環境センター

参事兼所長 金澤 秀行